

特別栽培農産物栽培管理計画書(変更)

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	2010年1月20日
登録番号	

生産者	杉山修一	品 種 名	コシヒカリ・夢ごこち・あさひの夢・ ゆうだい21
住 所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ 場	様式6-1-3号参照
電 話	0287-46-0741	栽培面積	195023 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～10月5日

(計 画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち・ゆうだい21 (単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	22.04.下旬 から5月 20	嵐ダントツ箱粒剤 被覆尿素 スリヤグアノ マグマリーン	1 kg 7.5 kg 20 kg 15 kg	2回 3 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田 植 え 後 10日	ホッパブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
収穫、乾燥	22.09.中 旬 から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

(計 画)

○作業内容 あさひの夢

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.2.上旬	発酵鶏糞	500 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 4 kg 1.2 kg		10リットル20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬 から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬 から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 9 kg	2回 3.6 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田 植 え 後 10日	ホップブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
収穫、乾燥	22.09.中 旬 から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

(実績) 1

その2

圃場10. 11. 13. 28. 29. 33. 34. 35. 36. 52番

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.26	海洋深層水 1ヘルツ			
収穫、乾燥	22.09.中旬から10月上旬				
調製作業	乾燥終了後 順次調製				
出荷作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
4	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.00	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	成分名	割合
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン		1.5%
	オリサストロビン		7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリホ		5.5%
	メフェセト		18.3%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

(実績) 2

その2

14. 21. 22. 23. 30. 31. 37. 38. 39. 57~61. 24

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル=20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.26	海洋深層水 1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日 ～6.28	ワイドアタックSC	0.1リットル	1回	
収穫、乾燥	22.09.中旬から10月上旬				
調製作業	乾燥終了後 順次調製出荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
5	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.02	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	割合
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリホ	5.5%
	メフェセト	18.3%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

(実績) 3

その2

圃場番号 8. 9

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル=20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬 から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬 から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10 日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.27	海洋深層水 1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日 ～6.28	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	
薬剤散布	22.8.7	ビームエイトスタークルゾル	0.1リットル	2回	
収穫、乾燥	22.09.中旬 から10月 上旬				
調製・出荷	出荷等に合 わせ調製出 荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.00	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリオン	5.5%
	メフェセト	18.3%
バサグラン液剤	ベンダゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

ヒームエイトスタークルゾール	ジメチアトリン	10.0%
	トリシラゾール	8.0%

(実績) 4

その2

圃場番号 3～7. 12.20. 25～27. 32

○作業内容

(単位: 農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土	82.5 リットル		10リットル=20枚換算
		発酵鶏糞 スリヤグアノ	2 kg 0.6 kg		
代掻き作業	22.04.下旬から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤	1 kg	2回	田植え同時散布
		スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	20 kg 15 kg 7.5 kg		
除草剤散布	田植え 10日後	ポッシブルフロアブル	0.5 リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.27	海洋深層水 1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日～6.28	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	22.09.中旬から10月下旬				
調製・出荷	出荷等に合わせ調製出荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
5	16	7.5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.02	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	割合
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリオン	5.5%
	メフェセト	18.3%
バサグラン液剤	ペンタゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

圃場番号16～19. 51

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土	82.5リットル		10リットル=20枚換算
		発酵鶏糞 スリヤグアノ	2 kg 0.6 kg		
代掻き作業	22.04.下旬から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.27	海洋深層水 1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日～6.28	ワイドアタック D1 キョ粒剤	1 kg	2回	
収穫、乾燥	22.09.中旬から10月下旬				
調製・出荷	出荷等に合わせ調製出荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリオン	5.5%
	メフェセト	18.3%
ワイドアタック D1 キョ粒剤	ベノキサラム	0.6%
	ダイロン	10.0%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

圃場番号1. 2. 40~50

○作業内容

(単位: 農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.上旬	発酵鶏糞	100 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル=20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬 から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬 から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10 日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.26	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日 ~6.28	ワイドアタック SC	1 kg	1回	
薬剤散布	22.8.7	ビームエイトスタークルゾル	0.1リットル	2回	
収穫、乾燥	22.09.中旬 から10月 下旬				
調製・出荷	出荷等に合 わせ調製出 荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.02	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	割合
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリオン	5.5%
	メフェセト	18.3%
ワイドアタックSC	ベノキサラム	3.6%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

ヒームエイトスタークルゾール	ジメチアフラン	10.0%
	トリシクラゾール	8.0%

(実績) 7 あさひの夢

その2

圃場番号 15・62～66

○作業内容

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	22.2.2.上旬	発酵鶏糞	500 kg		
耕起作業	22.3.上旬				
種子消毒	22.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	22.04.上旬	粒状培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 4 kg 0.6 kg		10リットル20枚換算
代掻き作業	22.04.下旬から5月中旬				
田植え作業	22.04.下旬から5月下旬	嵐ダントツ箱粒剤 スリヤグアノ マグマリーン 被覆尿素	1 kg 20 kg 15 kg 7.5 kg	2回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え 10日後	ポッシブルフロアブル	0.5リットル	2回	
土壌改良材流し込み	22.05.25 22.8.25	海洋深層水 1ヘルツ			
除草剤散布	22.6.24日～6.28	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	
収穫、乾燥	22.09.中旬から10月下旬				
調製・出荷	出荷等に合わせ調製出荷				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
5	16	7.5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.02	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	割合
嵐ダントツ箱粒剤	クロチアニジン	1.5%
	オリサストロビン	7.0%
ポッシブルフロアブル	テフルトリオン	5.5%
	メフェセト	18.3%
バサグラン液剤	ペンタゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

